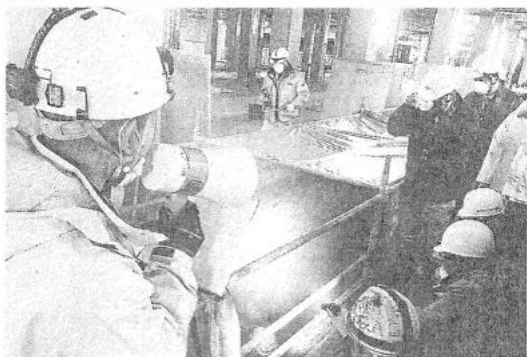


# 下水施設特有の対策学ぶ

## 県コンクリート診断士会

見学会を開催

福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）は12日、坂井市三国町池見の九頭竜川浄化センター



参加者約40人が参加した。同センターはコンクリートの劣化を受けて、塚田商事が対策を実施している。

石川会長は冒頭のあいさつで「下水処理施設の見学会は診断士会としては初めて。劣化の現状の理解と、下水施設特有の対策工事の考え方を学ぶが、貴重な機会にして頂きたい」と見学会の意義を語った。

初めに、担当者が九頭竜川浄化センターの施設概要や特徴、役割、防蝕被覆工事の内容などを説

明。CO<sub>2</sub>がセメント水和物と炭酸化反応を起し、細孔溶液中のPHを低下させることで、鋼材の腐食が促進され、ひび割れや剥離を引き起こす中性化など、下水処理施設での主な経年劣化や対策工法などについて詳しく述べた。

その後、参加者は実際に現場に出て、ウォータージェットによる工事の状況を見学。研り工程の前と後の状況および実際の作業について、施工者からの説明に熱心に聞き入りながら、真剣に学んでいた。